

衆議院議員 自民党東京23区 (町田市・多摩市)

真摯に、ひたむきに。



# おぐら 小倉まさのぶ通信

自民党

2020年 Vol.1



## デジタル時代の政治

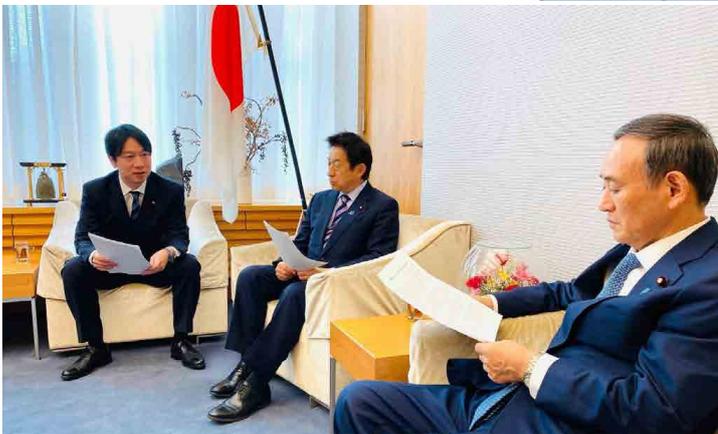
昨秋から自民党行政改革推進本部の事務局長を務めています。この本部では平成7年に発足して以来、規制改革や無駄撲滅プロジェクトなど予算を増やすことに注力しがちな政治プロセスの中、国民の付託を受けた国会議員が予算の効率化を提案することで存在感を発揮してきました。

その行政改革推進本部で今議論しているのがデジタル時代に合わせた規制や行政組織のあり方です。例えば、高圧ガスプラントの保守点検は1年毎に稼働停止させて行っていたがIoTセンサーの活用によって傷み具合をより詳細に把握することで最大8年まで連続運転

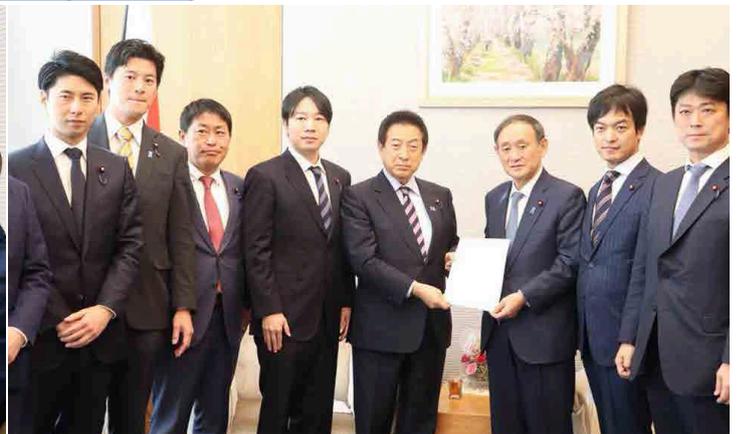
が可能になりました。同様に、道路や橋梁等のインフラ検査についても、ドローンや赤外線レーザーを活用し目視や打音による確認の合理化ができないか検討しているところです。デジタル化によって民間の人手不足を解消するだけでなく、行政組織の既存の人員も減らすことで新たに必要な部門(例えば自動運転車の安全審査やデジタルプラットフォーマーの監督など)に人員をまわすことができます。

令和という新たな時代に求められているのは、変化に対応できる新たな政治です。その想いで今年も国政に邁進して参ります。

### 行政改革推進本部での活動



政府全体における事務事業レベルでのEBPMの徹底と9府省32事業の効率化や縮減を提案しました。



北村規制改革担当大臣にデジタル規制改革に関する要望を提出しました。



会議後、担当記者へブリーフィング。

## 地味だけど重要な課題もデジタル活用で解決《特殊車両》

大型トラックや工事用クレーン車など、特殊車両の通行時には国や自治体などの道路管理者に事前申請し通行許可を得なければなりません。これは重量の大きい車両が通ることによる道路への過度な負担を避けるためですが、実はこの審査日数が60日を超え、このままでは物流が滞り、予定通り工事ができないなどの悲鳴が事業者から上がっていました。

このため、今年に入り審査日数短縮のための勉強会を開催し、道路情報の電子データ収納を加速化させる、申請窓口をオンライン上で一元化させる、地方道路の通行許可を審査する自治体を国が支援するなどの具体策を講じてもらいました。これらが奏功し審査日数は半減しましたがしかし、それでもまだ目標の10日以内に達しません。

そこで、今回、デジタル技術を組み合わせた新しい制度を国土交通省の道路局長に申し入れました。すなわち、特殊車両

の通行許可を通行単位から車両単位の登録制とし、事前に登録車が通れる道をオンライン上で示します。許可の範囲で通行しているかの確認はETCを使って事後的に行います。将来的には積荷の過積載もICTセンサーで捕捉できるようになります。これらにより、原則として審査にかかる時間が不要となり、事業者も審査する行政機関も負担が大幅に軽減されます。

国土交通省もこうした方向性で早々に新たな制度を検討していくとのこと。地味な分野ですが我々の生活を支えるインフラの分野にもデジタル化を推し進めて参ります。



## 町田市、多摩市の課題も率先して議論《マンション老朽化》

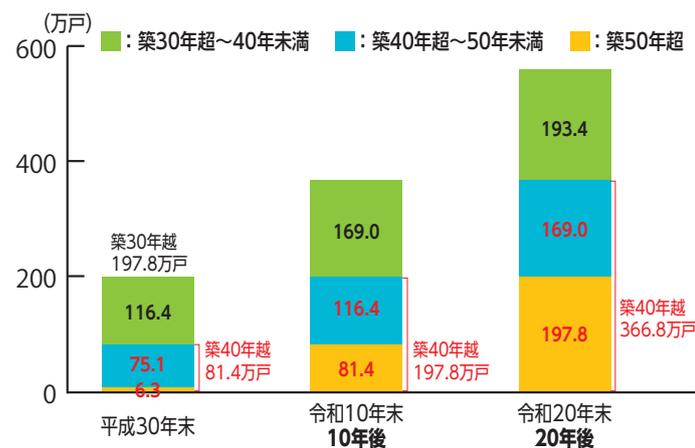
人口減少に伴い、全国的には戸建ての空き家問題が注目されていますが、都市部ではマンションの老朽化がより大きな問題です。

築40年以上のマンションは81.4万戸を超えますが、実際に建て替えられたのは1万9,200戸(平成31年4月時点)に過ぎません。マンション住民の高齢化や多国籍化、タワー

マンションをはじめとする大規模化、土地利用規制の強化による容積率不足などを考えると、今後のマンション建て替えは更に難易度が上がります。今こそ大胆な政策が必要です。

小倉まさのぶは自民党中古住宅市場活性化委員会の副委員長として、マンション建て替えを容易にする規制緩和や大規模修繕を適切に行うマンション管理の強化などに取り組んでいるほか、昨年12月に財務省主計局・主税局に対しそのための予算税制上の措置を要望しています。

### ■ 高経年マンションストックの増加



## 団地再生



小倉まさのぶが初当選以来取り組んできた団地再生に関する特例手続きが地域再生法の改正の中で盛り込まれました。

マンション老朽化対策や団地再生は町田市民や多摩市民にとっても身近な問題です。地域の皆様の声に耳を傾け、これからも鋭意取り組んで参ります。



# 地元活動等 2019年9月～12月 (一部抜粋)

9月



野津田競技場

マラソングランドチャンピオンシップ (MGC) で町田市出身の大迫選手を応援すべく、市民ランナーの皆様と野津田競技場でリレー。



実現

2017年に野津田公園再整備事業として国へ予算要望した陸上競技場の大型映像装置が整備されました。これからも、身近にスポーツを楽しんで貰える環境を作ります。



稲垣耳鼻咽喉科医院

新病棟 & 病児保育施設の開設式



正和幼稚園

新校舎竣工式



関東職業能力開発促進センター

横浜市のポリテクセンター関東を小泉進次郎厚労部会長 (当時) と視察。

10月



中学生と考える「持続可能な世界」

国会で開かれたユニセフ主催の勉強会に堺中学校の3年生が参加。



鶴川女子短期大学

鶴川女子短期大学の新校舎竣工式。設計は新国立競技場の設計でお馴染みの隈研吾さんです。



11月



学校教育にダンスが必修科目として取り入れられてから8年目を迎え、ダンス愛好家数は全国で約600万人を超えていると言われています。町田市はもとも「西の渋谷」と言われるほどストリートカルチャーが盛んなうえ、市内にもダンス教室が多数あり、多くのキッズダンサーがいますが、発表の機会や、踊る場所が少なく大きなムーブメントにはなり得ていません。政治活動とはまた別な形で地元を盛り上げたいと思い、実行委員長として「町田市をダンスで元気にしたい」という同じ志をもつ仲間たちと昨年キッズダンス大会を開催。町田市や多摩市のキッズなど約200名の子も達が参加してくれました。



# 地元活動等 2019年9月～12月 (一部抜粋)

11月



南町田グランベリーパークのまちびらき



2017年に田中国土交通副大臣へ予算要望をした南町田周辺地域の大規模再開発事業。南町田グランベリーパークのまちびらきに参加しました。



2017年2月14日

12月



歯科口腔医療勉強会の議員で歯科医療予算の増額を要望

歯科医師が中心となり平成元年に始まった8020運動は大きな成果をあげており、今や80歳の半数以上(平成28年時点で51.2%)の方が自分の歯を20本以上維持しています(昭和62年当時は7.0%)。また12歳の永久歯の一人当たり平均虫歯等数は、平成元年4.3本でしたが、令和元年には0.7本にまで減少しています。歯科治療は全身疾患の改善にも効果があると言われ、歯の健康を守ることは健康寿命の延伸に貢献し、増え続ける医療費の削減にも繋がります。しかし、歯科医療の高い重要性とは裏腹に元来、他の医療と比べると歯科医療の予算は少ない傾向にあります。そこで、高齢化社会に備え歯科医療の予算を増やすべき、と加藤厚生労働大臣(上写真)と二階幹事長(下写真)へ緊急要望を行いました。



小山子どもクラブ「さん」

町田市小山地区に待望の児童館「さん」が誕生。Sun(サン)、小山(さん)、参(さん)加が名前の由来です。これで子どもセンター・子どもクラブは市内で11館。日本一子どもに優しい町に大きく前進。



2019年9月



2019年12月

秋は神社のお神輿、冬は町内会の餅つき大会。地域の皆様のおかげで、議員活動も8年目。

## Profile 町田市・多摩市選出(東京都第23選挙区) 自民党衆議院議員 小倉まさのぶ

1981年 5月 30日 多摩市生まれ、町田市在住  
 2004年 3月 東京大学法学部 卒業  
 4月 日本銀行 入行  
 2009年 7月 オックスフォード大学院 修了  
 2012年 12月 第46回衆議院議員総選挙にて初当選  
 2014年 12月 第47回衆議院議員総選挙にて2期目当選  
 2017年 8月 総務大臣政務官 就任  
 10月 第48回衆議院議員総選挙にて3期目当選  
 11月 第4次安倍内閣にて総務大臣政務官に再任  
 2019年 7月 桜美林大学客員教授に就任

### これまでの主な役職

#### 国会

- 総務委員会 理事
- 消費者問題に関する特別委員会 委員
- 災害対策特別委員会 委員
- 政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関する特別委員会 委員

#### 自民党

- 金融調査会 事務局長
- 消費者問題調査会 事務局長
- 法務自治関係団体 委員長
- 広報本部広報戦略局 次長

- 青年局 次長
- 国土交通部 副部長
- 経済成長戦略本部 事務局次長
- 行政改革推進本部 事務局次長
- 地方創生実行統合本部 事務局長代理
- 国際協力調査会 事務局次長
- 中古住宅市場活性化委員会 副委員長
- 宇宙・海洋開発特別委員会 幹事
- 競争政策調査会 幹事
- クールジャパン戦略推進特別委員会 幹事

#### 議員連盟

- モノレールの普及を応援する議員連盟 事務局長
- 指定自動車教習所を応援する議員連盟 事務局長
- 若者政策推進議員連盟 副会長 ほか

#### その他

- 一般社団法人日本モノレール協会 顧問
- 一般社団法人三多摩サッカー連盟 副会長
- 一般社団法人茶道裏千家淡交会東京第八支部 顧問
- 町田リトル・リトルシニア野球協会 後援会長
- 町田市書道連盟 顧問
- 多摩市少年野球連盟 顧問 ほか

【地元事務所】 町田事務所 〒194-0013 東京都町田市原町田5-4-7 からかあさ101号 TEL: 042(710)1192 FAX: 042(710)1193  
 多摩事務所 〒206-0041 東京都多摩市愛宕4-9-22 池田ビル103号 TEL: 042(400)1751 FAX: 042(400)1752  
 【E-mail】 info.oguramasanobu@gmail.com 【HP】 http://www.ogura-m.jp/